



社長

川面 智義氏

三雅産業（大阪府高槻市、川面智義社長、072・694・4141）は、メーカーの資材調達や物流の業務を丸ごと代行する電子部品商社だ。独自開発のコンピューターシステムを使って発注、在庫・納期管理、書類作成などを自動化。欠品など的人為的ミスを防ぎながらジャストインタイムで部品供給す

部品管理
丸ごと代行

独自システムで効率化

調達 NOW

購買担当役員に聞く

三雅産業

る。既存在庫をすべて引き取るため、メーカーは在庫金額や社内物流費を大幅に減らせる。川面社長に業態や今後の展開などについて聞いた。（大阪・錦織承平）

—「電子部品商社」という枠に収まらない業態です。

「メーカーの資材部が多く時間を費やしている発注、納期管理、受け入れ、配膳などの業務を代行し、メーカーで発生していた管理費の一部を費用として受け取るのが当社の業態だ」

—部品調達先とはどのように交渉しますか。

「資材業務を引き受ける際に仕入れルートをそのまま引き継ぐ。メーカーから調達先に依頼してもらえるため、当社は従来通りの価格と販売権を得られる」

—顧客企業が広がっているそうです。

「従来は電機メーカーが主だったが、最近は機械メーカーや医療

機器メーカーとの取引が始まり、機械部品も扱うようになった。図面に書かれていない細かいノウハウや生産能力の確保など電子部品と違う管理手法が必要なため、現在はその手法の確立とシステム化を進めている」

—独自システムで業務を効率化しています。

「パッケージシステムを使う商社が多いが、当社は販売、生産、外注先の管理システムを独自に構築している。大手メーカーの資材業務を丸ごと引き継ぐ過程で、各社の先進的な調達システムを学び、取り入れてきた。5年に一度、7000万円ほどを投じてシステムを刷新している」

—今後の展開は。

「顧客と取扱商品の幅を広げたい。方法として、M&A（合併・買収）も考えている」

かわつら・ともよし 64年（昭39）関東学院大工卒、同年ヤギシタ電機入社。72年三雅産業設立、社長。神奈川県出身、73歳。